

教会のメンバーシップ ローマ人への手紙 12 章 4 節から 6b 節

わたしたちは教会について聖書から学んでいます。先週はその 2 回目として「教会の統治」について学びました。わたしたちは、教会の統治に関して 4 つの段階を見ました。教会の所有者はイエス様であること。教会の支配者は会衆であること。教会のリーダーは長老であること。そして、教会の奉仕者は執事であること、です。わたしは、教会におけるリーダーシップや統治についてもう少し深く見ていきたいと思えます。そこで、これから数回にわたって、この内容に関する礼拝説教を続けていきたいと思えます。今日の説教は「会衆」から始めます。あなたが地域教会におけるメンバーシップを誓約する。すると、あなたは教会のメンバーとなります。つまり会衆の一員となります。これまでの YIBC 教会規則、そして、新教会規則案はどちらも YIBC のメンバーであることの意味と入会方法を明記しています。新教会規則案はどのように構築されたのでしょうか。メンバーシップに関する聖書的な理解が、この規則案の中にどのように反映されているのでしょうか。わたしは皆さんと共に聖書を紐解きながら、これらのことについて明らかにしたいと思えます。

教会がメンバーシップをどのように扱うべきなのか。残念ながら、聖書は完全に明確な形を示していません。聖書には、現代的なメンバーシップという感覚で、教会への入会について記述しているところは見当たりません。しかしながら、教会のメンバーシップは聖書的です。また必要です。わたしはこのことを説教で示します。わたしは、教会のメンバーシップについて聖書的に説明したいと思えます。そこで、ローマ人への手紙 12 章 4 節から 6 節 a を取り上げます。ローマ人への手紙 12 章 4 節から 6 節 a は言います。4 一つのからだには多くの器官があり、しかも、すべての器官が同じ働きをしてはいないように、5 大勢いる私たちも、キリストにあって一つのからだであり、一人ひとは互いに器官なのです。6 私たちは、与えられた恵みにしたがって、異なる賜物を持っているので、それが預言であれば、その信仰に依りて預言し、教会は一つのからだである。聖書には、このように記述されています。そもそも、教会のメンバーシップの聖書的な根拠は「教会は一つのからだである」ことです。まさに、このローマ人への手紙 12 章 4 節から 6 節 a こそ、聖霊がパウロをとおして教会について描いている部分です。教会は一つのからだである。この表現が教会のメンバーシップの必要性を物語っています。また、一つのからだという描写をとおして、教会のメンバーシップとはどういうものなのかを知ることができるのです。

パウロは教会をからだとして描きます。その第一の理由は、からだの中のつながりを示すためです。わたしたちのからだは、どのようなつながりによって成り立っているのか、考えてみてください。わたしたちは、レゴのブロックのように、からだを組み立てられたり、組み替えられたりしません。わたしたちのからだは、部品を引き抜いたり、元に戻したり、見た目を組み換えたり、ということではできないのです。神は、わたしたちのからだのすべての部分が、他のすべての部分と協調して働くように設計しています。わたしたちは、からだの一部がなくても生きていけますか？もちろん、できます。医学的な理由でからだの不健康な一部を切除したり、人工物やドナーの臓器に置き換えたりする手術は、日常茶飯事のように行われています。そのような手術をすれば人々の命は救われます。病後には生活の質を取り戻します。しかし、健康で完全だったからだのまま、ということではありません。つまり、腕を抜いたり、足を抜いたり、わたしのように股関節を入れ替えたりすることは、深刻な悪影響がないとは言いきれないのです。わたしが言いたいことは、教会の中でわたしたち同士はどのようにつながっていくべきなのか、ということです。

わたしたちが一つのからだとしてつながることを考える場合、第 1 に、お互いがお互いを必要としているという側面があります。このことが教会のメンバーシップを理解することにつながります。わたしたちは礼拝説教でコリント人への手紙第一から学んできました。その時、12 章の中で、互いが互いを必要とすることについて、具体的に見ました。ここで、コリント人への手紙第一 12 章 12 節から 18 節に戻ります。12 ちょうど、からだ一つでも、多くの部分があり、からだの部分が多くても、一つのからだであるように、キリストもそれと同様です。13 私たちはみな、ユダヤ人もギリシア人も、奴隷も自由人も、一つの御霊によってバプテスマを受けて、一つのからだとなりました。そして、みな一つの御霊を飲んだのです。14 実際、からだはただ一つの部分からではなく、多くの部分から成っています。15 たとえ足が「私は手ではないから、からだに属さない」と言ったとしても、それで、からだに属さなくなるわけではありません。16 たとえ耳が「私は目ではないから、からだに属さない」と言ったとしても、それで、からだに属さなくなるわけではありません。17 もし、からだ全体が目であったら、どこで聞くのでしょうか。もし、からだ全体が耳であったら、どこでおいを嗅ぐのでしょうか。18 しかし実際、神はみこころにしたがって、からだの中にそれぞれの部分を備えてくださいました。わたしたちのからだは、あらゆる部分が互いにつながっています。それと同じように、教会のあらゆる部分は他のあらゆる部分と

つながっています。わたしたちはからだの一部を切除することはできません。切除しなければ、わたしたちが何らかの影響を受けることはなく、能力が低下することはありません。このことは、すでに述べたとおりです。すべての部分は、他の部分を必要としているのです。教会のメンバーシップは、一つのからだにおける互いのつながりとして理解すると、良く分かります。新教会規則案では、すべてのメンバーおよび将来のメンバーに対して、この教会組織に対する誓約を文書化した教会員契約への同意を求めることとなります。YIBCには、以前から教会契約はありました。しかし、これまであまり話題にはなりません。教会のメンバーシップとは、地域教会において、他のメンバーに対して、あなたがキリストのからだの一員となることを真面目に誓約することである。今日、わたしたちはこのことを強調したいのです。キリストのからだであるわたしたちは、あなたを必要としています。そして、あなたもキリストのからだを必要としているのです。

キリストのからだも、あなたも、互いに互いを必要としています。これは共生の関係です。そこで、わたしたちは次のつながりに目を向けます。わたしたちが一つのからだとしてつながることを考える場合、**第2に、互いに与えたり受け取ったりする関係であるという側面があります。このことが教会のメンバーシップを理解することにつながります。**わたしたちはお互いに参加し合うのです。ただ礼拝堂の席に座って受け取るだけではないのです。わたしたちのからだには、純粋な意味で、まったく動かない部分などありません。脳は神経にメッセージを送り、筋肉を刺激し、行動を起こさせます。筋肉は動くと、五感を通じて脳に信号が送られて、脳はそれに応じて別の信号を送ることができます。これと同じことが、キリストのからだにも起こります。わたしはキリストのからだの一部である。これはどのような意味なのかを本当に理解するならば、わたしたちの誰一人として、何もせず受けるままの人になることはできないのです。キリストのからだの一部として存在していると、わたしたちは皆、何らかの形で他者に何かを与えています。誰もが、そうやってからだの部分として貢献しています。エペソ人への手紙5章は、からだの一部としてわたしたちが与え合うことについて示しています。**エペソ人への手紙5章19節から21節は言います。19 詩と賛美と霊の歌をもって互いに語り合い、主に向かって心から賛美し、歌いなさい。20 いつでも、すべてのことについて、私たちの主イエス・キリストの名によって、父である神に感謝しなさい。21 キリストを恐れて、互いに従い合いなさい。**わたしたちは、共に賛美を捧げる時でも、フェローシップに参加する時でも、教会における教えや養育のミニストリーに貢献しているものなのです。だから賛美することは重要です。ローマ人への手紙12章6節に書かれているように、わたしたちはそれぞれ賜物を持っています。**6 私たちは、与えられた恵みにしたがって、異なる賜物を持っているので、それが預言であれば、その信仰に応じて預言し、互いに愛し合うこと。**このことはコリント人への手紙第一13章には「誰もが持つことができる賜物」と書かれています。教会の中で互いに愛し合うということで、わたしたち同士が、互いに必要としているような形に、他者に与えることができるのです。互いに従い合うことは、まさに愛なのです。あなたには、教会から愛されることを必要としている時、教会から世話を受ける必要がある時、そして、誰かを愛する能力が著しく制限される時もあります。そんな時こそ、教会はあなたに愛を与えるために存在し、あなたの必要を満たすために存在するのです。また、あなたからの優しい言葉が、あなたの笑顔が、他のメンバーにとって必要な時があります。また、あなたの愛から生じた何気ない行為が、他のメンバーにとって、礼拝後の一週間を乗り切ることができるほどの励ましとなることもあります。しかし、このように互いに与え合うことができるのは、あなたが教会に参加している時だけです。わたしたちは新教会規則案において、教会に参加しない場合、6か月間という期間を設定しました。これ以上教会に参加しない場合、わたしたちはこのメンバーについて除籍を含めて対応を検討することになります。

教会に定期的に参加することができない場合、理由はそれなりにあるものです。教会に参加できない理由としては、健康上の問題、教会と居住地との往復に問題がある、仕事の事情などが思い浮かびます。しかし、教会までの道のりの困難さを乗り越えて参加するメンバーがいます。深刻な健康問題を抱えているにもかかわらず可能な限り忠実に礼拝に参加するメンバーがいます。このことに、わたしは驚かされます。わたしたちは礼拝にライブストリームを導入しています。その理由は、健康上の問題を抱えたメンバーに体調を悪化させることなく礼拝を味わっていただくためです。しかし、こうした方々は物理的に教会で礼拝したい、教会でフェローシップを持ちたいと願っているのです。また、ほぼ毎週日曜日に働いているメンバーがいます。こうした方々は、たとえ雇用主が望まないとしても、できるだけ頻繁に日曜日の朝に休みを取り、キリストのからだの一部になろうとしています。しかしながら、教会の礼拝に参加することが十分に可能でありながら、休めるはずの仕事へ行くことを選択し続けたり、都合のいいときだけ来たりするメンバーもいます。そうしたメンバーの中には、ライブストリームを観る人もいるかもしれません。し

かし、ライブストリームは、実際に教会の礼拝に参加しなかったことで逃してしまったものと置き換えることはできません。牧師であり、『Gentle and Lowly』という素晴らしい本の著者である Dane Ortlund 氏が、少し前に Facebook にこんなイラストを投稿していました。「礼拝をオンラインで観る」ために家にいるのは、友人の結婚式をバーチャル観戦するために家にいるようなものです。そして、結婚祝いをあなた自身の手元に置いたままにしておくことです。お祝いの場にあなたの存在があって、参加者とあなたとの連帯があって、参加者とあなたとの愛とハグとアイコンタクトと賛美が必要なのです。ただ受け身になって、何かを受け取ることはありません。お祝いの場の中に飛び込んで一緒にすることなのです。あなたがいないことで、イベント全体が萎縮してしまいます。あなたには、与えるための賜物があるのです。

わたしたちはキリストのからだとして教会に来ることが重要です。その理由がもう一つあります。その理由とは、教会に来て、キリストご自身と共に、聖餐式にあずかるからです。再びコリント人への手紙第一に戻ります。10章16節にはこう書かれています。私たちが祝福する祝福の杯は、キリストの血にあずかることではありませんか。私たちが割るパンは、キリストのからだにあずかるものではありませんか。礼拝説教でコリント人への手紙第一を学んでいた時、礼拝説教のすべての時間を使って聖餐式について語ったものがありました。わたしたちが一つのからだとして共にあずかる聖餐式とは、キリストにある兄弟姉妹と共にあずかるのではなく、キリストご自身とわたしたち全員が独特の方法で聖餐にあずかることである。このことは明らかです。聖餐式は、一つのからだとして共に祝うものであるはずですが、以前にも言いましたが、わたしは絶対にしたくないと真剣に思っていることがあります。それは、オンラインで礼拝を観ているだけの人に聖餐式に参加してもらうことです。しかし、教会に足を運んで参加された方々については、ナーサリーのご奉仕をしている方々であっても聖餐式のお声掛けをしています。長老が他のメンバーと一緒に家庭訪問をする際、健康上の理由で引きこもっているメンバーに聖餐を捧げるということもあり得ます。しかし、教会の儀式は個人で行うものではありません。キリストのからだとして共に参加するものです。

わたしたちは、一人一人、キリストを信じていることによって、互いにつながっています。このつながりは、一つのからだです。つまり、それほど密接なものなのです。この真理は、わたしたちが一つのからだとしてつながることを考える場合、教会のメンバーシップを理解することにつながる第3の側面を示します。この第3の側面とは、わたしたちが同じDNAを共有し、家族としての関係を持つ、ということです。わたしたちのからだを構成するすべての部分は同じDNAを共有します。それと同様に、イエス・キリストを信じているわたしたちは、聖霊と呼ばれる同じDNAを共有します。コリント人への手紙第一12章13節は言います。13 私たちはみな、ユダヤ人もギリシア人も、奴隷も自由人も、一つの御霊によってバプテスマを受けて、一つのからだとなりました。そして、みな一つの御霊を飲んだのです。このことは、わたしたち信仰者が家族であることを意味します。わたしたちはイエス様の救いにあずかりました。この他に、聖霊というDNAにより家族となったことは最大の賜物なのです。救いにあずかったわたしたちは、父なる神の養子となり、新しい霊的家族の一員となったのです。わたしたちの救いに関して、エペソ人への手紙2章19節は言います。19 こういうわけで、あなたがたは、もはや他国人でも寄留者でもなく、聖徒たちと同じ国の民であり、神の家族なのです。わたしの好きな神学者の一人にJIパッカーがいます。彼は“Knowing God”という著書の中で、わたしたちは毎日この真理を思い起こすべきだ、毎日この真理を思い出すためにこう言うべきだ、と述べています。「私は神の子である…。神は私の父である…。天国は私の家だ… 1日ずつ天国に近づいている…私の救い主は私の兄弟だ…すべてのクリスチャンも私の兄弟だ。」キリストの救いを受け入れた個人同士は互いにつながり合って新しい家族となります。この家族は、国籍や人間の血に基づくものではなく、もっと強いもの、つまり、わたしたちすべてのために血を流してくださったイエス・キリストの血に基づいています。エペソ人への手紙3章6節は言います。6 それは、福音により、キリスト・イエスにあって、異邦人も共同の相続人になり、ともに同じからだに連なって、ともに約束にあずかる者になるということです。キリストを救い主と信じる信仰によって、ユダヤ人、異邦人、日本人、アメリカ人、フィリピン人、中国人、その他あらゆる国民は、キリストの家族としてすべて含まれて、兄弟姉妹として一緒に結ばれているのです。そして、この家族は大きいのです！わたしたちには、地元だけでなく、世界中に家族がいます。聖書は、キリストのからだは全世界で結ばれている、というのです。ヘブル人への手紙13章3節は言います。3 牢につながれている人々を、自分も牢にいる気持ちで思いやりなさい。また、自分も肉体を持っているのですから、虐げられている人々を思いやりなさい。世界中でクリスチャンが迫害されています。こうしたクリスチャンを覚えて支援することは良

いことです。わたしたちは、特定の地域にいる信仰者のグループとして地域教会に参加しているとしても、世界全体の信仰者はキリストのからだとして結ばれているからなのです。

わたしたちが一つのからだとしてつながることを考える場合、第4に、参加することに意義があり、離れることに苦痛を伴うという側面があります。このことが教会のメンバーシップを理解することにつながります。このからだの一員であることは、神ご自身からの賜物です。エペソ人への手紙2章8節は言います。8 この恵みのゆえに、あなたがたは信仰によって救われたのです。それはあなたがたから出たことではなく、神の賜物です。神がわたしたちを救うために選び、ご自分のもとに呼んでくださったからこそ、わたしたちはキリストのからだの一部となっているのです。キリストのからだ、すなわち教会は、人間が造った機関ではないのです。コロサイ人への手紙3章15節は言います。15 キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。そのために、あなたがたも召されて一つのからだとなったのです。また、感謝の心を持つ人になりなさい。わたしたちにとって救いとは、目に見えない教会につながっていること、すなわち、信仰によってイエス・キリストに従ったすべての信仰者と結びつくことを意味しています。このことは重要です。だからこそ、地域教会への入会は軽んじられるべきではないのです。地域教会に入会した人は、普遍的教会の一員でもあります。わたしたちは、このことについて何度も心に刻む責任があるのです。別の表現にすると、教会は入会者に対して、可能な限り、彼らが救いを受けたことを事実として保証する責任がある、ということです。バプテスマとは、救いの後に受けるべきものです。そして、その人がイエス・キリストに従順であるかどうかを知るための基本的なステップです。ですから、教会では、メンバーシップを与えるためにバプテスマを要求しています。また、わたしたちは、教会への入会希望者が会員要件を理解していることを確認したいと思います。そこで、新教会規則案では、わたしたちの信仰宣言と教会員契約を補足解説するために、入会希望者にメンバーシップクラスに参加することを要求しています。わたしたちは、教会への入会希望者の方々がからだの一部として機能することを本当に願っています。だからこそ、入会されたい方々に次のことを確認する必要があります。すなわち、わたしたちのからだの一部になりたいと表明することは、あなたの人生にとって重要なステップになるのですよ、ということです。

離れることも苦痛であるはずですが、わたしたちは、あなたが礼拝への出席をやめても構わないとは思っていません。ですから、少なくともあなたが礼拝に出席しなくなってから6ヶ月を経過した時点で、わたしたちは、からだの一員としてあなたが必要であることを、あなたに理解していただくように対応していきます。聖書は、教会に参加できる状況であるのに教会に参加しないという罪も含めて、罪と向き合うことを求めています。わたしたちは、コリント人への手紙第一の礼拝説教で、姦淫を犯した男との対決場面を見ました。また、マタイによる福音書18章では、悔い改めないあらゆる罪の問題を教会に持ち込むためのプロセスが紹介されています。わたしたちは、このプロセスを教会規則で定めています。メンバーシップに関しては、転居した場合には転居地にある教会に入会するのが最良の考えであることが教会員契約の中に示されています。しかし、わたしたちのメンバーの中には、一時的に他の国に居住しており、メンバーシップを維持したいと申し出た方がいらっしゃいます。また、一時的に日本に滞在しているものの、様々な理由でメンバーシップから離れたくない方のことも、わたしたちは認識しています。わたしたちはメンバーシップの中に准会員の資格を設けました。母教会のメンバーシップを剥奪することなく、一時的に参加できるようにしました。わたしは、キリストのからだであるということの意味を、ここまで概観してきました。しかし、わたしが今日の礼拝説教において皆さんに受け止めていただきたかったことは、つながりです。キリストのからだとしての教会を理解していただいた上で、わたしたちに求められているつながりとはどういうものか、ということを受け止めていただきたかったのです。初代教会の中にメンバー名簿が保管されていたことを示唆するものがあります。例えば、テモテへの手紙第一5章9節には、やもめの名簿があったことが書かれています。このことは、誰が教会に属しているかという明確な名簿がなければあり得ません。しかし、ただ名簿に名前が載っていることをはるかに超えた、意義があり目的性をもった、最も説得力を持つメンバーシップとはどこに存在するのでしょうか。それがつまり、教会が一つからだとして機能している現実の中に存在するのです。わたしたちは、まぎれもなくキリストのからだです。メンバーシップとは何か。エクセルで作成した教会名簿にあなたの名前が書かれていることについてはありません。教会名簿にあなたの名前が書かれていることが何を意味するのか、についてであるべきなのです。あなたは、この地域のからだであり、あなたの地域教会であるYIBCを構成する兄弟姉妹に対して、キリストのからだとなることを誓約しているのです。祈りましょう。

Church Membership Romans 12:4-6a

Last week in our second message on what the Bible teaches about the church, we focused on the Government of the church. We looked at the 4 levels of government in the church. The owner of the church – Jesus. The rulers of the church – the congregation. The leaders of the church – elders. And the servants of the church – deacons. Over the next couple of sermons I want to break down each of those levels of leadership and government and look deeper into each one of those. Today we are going to start with the congregation, which you become a part of by committing to membership in a local church. Our current constitution and proposed constitution both spell out what it means to be a member, and how to become a member at YIBC. I hope through today's message as we look at the Scripture, it will be clear for you how we structured the proposed constitution to reflect a Biblical understanding of membership.

Unfortunately, church membership is one of those areas where we have to be honest and say that the Bible is not completely clear on how churches should deal with membership. You will not find a description of joining the church in the modern sense of membership anywhere in the Bible. But, what I hope to demonstrate in this sermon is that church membership is both Biblical and necessary. To do that, I want to use Romans 12:4-6a as the primary passage to make the Biblical case for church membership. **Romans 12:4-6a says, 4 For as in one body we have many members, and the members do not all have the same function, 5 so we, though many, are one body in Christ, and individually members one of another. 6 Having gifts that differ according to the grace given to us, let us use them:** The primary Biblical case for church membership is based on the description of the church being a body. Here in Romans 12, the Holy Spirit through the writer, Paul, is showing us this description of the church. It is his primary description of the church, and in his use of it we can see why church membership is necessary and what church membership should mean.

The primary reason he uses a picture of the Body for the church is the **connection in the Body**. Think about how connected our bodies are. We are not put together like LEGO blocks. You can't just pull a piece of our bodies off and put it back on or change the way it looks. God designed every part of our bodies to work in concert with every other part of our bodies. Can we live without some parts of our bodies? Sure, we can. For medical reasons, people receive surgeries every day to remove unhealthy body parts or replace them with manmade or donor parts. But while those types of procedures are lifesaving and give quality of life back after illness, they do not provide the same wholeness that comes with a body that is healthy and complete with all its original body parts. So, you can't just remove an arm, remove a leg, replace a hip joint like I had done, or do anything else in our bodies without some serious negative effects. So what does this mean for how we should be connected in the church?

The first aspect of connection in being a body that leads to this understanding of membership is that we need each other. We saw this specifically in our study of 1 Corinthians when we were in chapter 12. Now, I don't want to re-preach that sermon, but I do want to go back to **1 Corinthians 12:12-18** to see this aspect of being the Body of Christ. **12 For just as the body is one and has many members, and all the members of the body, though many, are one body, so it is with Christ. 13 For in one Spirit we were all baptized into one body—Jews or Greeks, slaves or free—and all were made to drink of one Spirit. // 14 For the body does not consist of one member but of many. 15 If the foot should say, "Because I am not a hand, I do not belong to the body," that would not make it any less a part of the body. 16 And if the ear should say, "Because I am not an eye, I do not belong to the body," that would not make it any less a part of the body. 17 If the whole**

body were an eye, where would be the sense of hearing? If the whole body were an ear, where would be the sense of smell? 18 But as it is, God arranged the members in the body, each one of them, as he chose. Every part of the church is connected with every other part of the body in the way that every part of our bodies is connected together. We have already noted that you can't remove a part of your physical body and not suffer some consequences and reduced ability. Every part needs the other part. This is such a serious understanding of membership, that in the new Constitution we are asking all current members and requiring future members to sign their agreement to a membership covenant that puts in writing our commitment to this body. We have always had a church covenant, but never talked about it much. Now we want to emphasize it as a way to formalize the serious commitment to the rest of the church that you make as a member of the Body of Christ in the local church. We need you and you the Body.

This symbiotic relationship of both you needing the Body and the Body of Christ needing you brings us to the next aspect of connection. **The second aspect of connection in being a body that leads to this understanding of membership is that this is a give and receive relationship.** We participate with each other. It's not just sitting in a pew receiving. There are no purely static parts in our bodies. The brain sends messages to the nerves which stimulate movement in muscles, and cause actions to happen. Those muscles contribute to signals being sent back to the brain through our 5 senses, which can then send other signals in response. The Body of Christ is the same. If we really understand what it means to be the Body of Christ, none of us can ever truly be just a receiver. All of us contribute in some way in giving to others even if just with our presence in the Body of Christ. Ephesians 5 shows us this participation with other members. [Ephesians 5:19-23 says, addressing one another in psalms and hymns and spiritual songs, singing and making melody to the Lord with your heart, 20 giving thanks always and for everything to God the Father in the name of our Lord Jesus Christ, 21 submitting to one another out of reverence for Christ.](#) Even in our singing and fellowship, we are contributing to the teaching and discipling ministries of the church. It's why its important to sing. As verse 6 of Romans 12 tells us we each have gifts. **6 Having gifts that differ according to the grace given to us, let us use them.** Even simply loving each other, which 1Corinthians 13 says is a gift everyone can have is you giving to others in the church in a way we all need. Submitting to one another is truly what love is. There are times you need to be loved and cared for by the church and your capacity for loving is severely limited. That's when the church is here to give to you and meet your needs. There are other times when your kind words and smile may be just what another church member needs and that small act of love may give them the encouragement they need to get through their week. But you can only do this when you are here, which is why we put a specific period of 6 months non-attendance in the proposed Constitution after which we will have to at least consider a member for removal.

There are some good reasons why people cannot come regularly to church. Health, distance and jobs come to mind. It amazes me, though, how some of our members who have the most difficult journey to get here, and have the most health problems come as faithfully as they possibly can. They are the reason we keep a livestream in place so they can get a taste of worship without having to make their health worse, but they want to be here physically sharing in our worship and fellowship. Others who work nearly every Sunday go out of their way to take off on Sunday morning as often as possible to be part of the Body, even if their employers would prefer they not. But there are others who are fully able to be here, but choose many times to work when they could be off or only come when it is convenient. Some of them may watch the livestream, but a livestream cannot replace what you miss by not being present with the body. [Dane Ortlund, Pastor and author of the incredible book,](#)

Gentle and Lowly posted on Facebook a while ago this illustration. *Staying home to “watch church” is like staying home from a friend’s wedding to watch the ceremony virtually. And keeping your wedding gift with you. Your presence and solidarity and love and hugs and eye contact and singing are needed. It’s not just about passively receiving something. It’s about being an embodied part of the celebration. The whole event is diminished by your absence. And you have a gift to give.*

There is another reason way we participate with the Body that makes presence important. That is participation with Christ himself through Communion. Going back to First Corinthians again in [1 Corinthians 10:16](#) we read, [The cup of blessing that we bless, is it not a participation in the blood of Christ? The bread that we break, is it not a participation in the body of Christ?](#) There was an entire sermon on this when we went through 1 Corinthians, but it is clear that taking the Lord’s Supper together as a body is not only something we do with brothers and sister in Christ, but also with Christ himself in a unique way. The Lord’s Supper is supposed to be celebrated together as a body. I have said it before, but I have serious reservations about ever asking people to participate who are just watching online. However, in person, we even offer it to the nursery workers who are serving. I could even see an Elder offering Communion to a member who is shut in due to health when doing a home visit with other church members. But the ordinances of the church are not intended to be practiced privately, but in participation with the Body of Christ.

The connection we have in Christ is so close that it is spoken of as being a Body. And that truth leads to a third **aspect of connection in being a body that leads to this understanding of membership. It is that we share the same DNA, making us related as family.** Just as all our body parts share the same DNA, we who know Jesus Christ all share the same “DNA” otherwise know as the Holy Spirit. [1 Corinthians 12:13](#) says, [13 For in one Spirit we were all baptized into one body—Jews or Greeks, slaves or free—and all were made to drink of one Spirit.](#) This means that we are family. Other than our salvation this is the greatest gift that comes with salvation. We are adopted by God the Father and made part of a new spiritual family. Regarding our salvation, [Ephesians 2:19](#) says, [So then you are no longer strangers and aliens, but you are fellow citizens with the saints and members of the household of God...](#) One of my favorite theologians, JI Packer says in his book *Knowing God*, that we should remind ourselves of this truth everyday by saying. *“I am a child of God... God is my father... Heaven is my home... every day is one day nearer... my Savior is my brother... every Christian is my brother too.”* This new family in Christ is not based on nationality or human blood, but something so much stronger, the blood of Jesus Christ who shed his blood for all of us. [Ephesians 3:6](#) [This mystery is that the Gentiles are fellow heirs, members of the same body, and partakers of the promise in Christ Jesus through the gospel.](#) Jew, Gentile, Japanese, American, Filipino, Chinese, and every other nation are included in Christ, and joined together as brothers and sisters in this family of Christ. And this family is big! We have family all around the world, not just locally. The Bible says that the body of Christ is united throughout the whole world. [Hebrews 13:3](#) says, [Remember those who are in prison, as though in prison with them, and those who are mistreated, since you also are in the body.](#) It is good to remember and support Christians being persecuted around the world, because we are all united in the Body of Christ, although we join with a specific local group of believers into local churches.

The fourth and final aspect of connection in being a body that leads to this understanding of membership is that it is significant to join, and painful to leave. Being a part of this Body is a gift from God himself. [Ephesians 2:8](#) says, [8 For by grace you have been saved through faith. And this is not your own doing; it is the gift of God...](#) We are only

a part of the Body of Christ, because of God's electing us to salvation and calling us to himself. This is no manmade institution. [Colossians 3:15](#) *And let the peace of Christ rule in your hearts, to which indeed you were called in one body. And be thankful.* Given the significant nature of our salvation which joins us to the invisible church, which is all believers who have ever followed Jesus Christ by faith, then entrance to the local church should not be taken lightly either. We have a responsibility to as much as possible make sure that anyone who joins the local church is a part of the universal church. In other words, ensure to the best of our ability their salvation. Baptism, which should follow salvation is the basic step for seeing if a person is being obedient to Jesus Christ, so we require it for membership. We also want to make sure that a prospective member understands the requirements of our membership, so the proposed Constitution requires a membership class in order to cover our doctrinal statement and our membership covenant. If we want people to truly be an active part of the body, then we need to make sure it is a significant step in their lives to say they want to be a part of us.

It should also be painful to leave. We don't want you to just quit attending and be okay with it, so we do require steps to be taken at least by the 6 month mark of not seeing you to try and get you to understand that we need you to be a part of us. The Bible requires us to confront sin, including the sin of not gathering with the church as you are able. We saw that confrontation in 1 Corinthians with the man committing adultery and a process in Matthew 18 for bringing all types of unrepentant sin issues to the church. We lay out this process in the Constitution. When it comes to membership, we also recognize in our membership covenant that the best idea is to join a local church wherever you move to. But there are a couple of our members who live in other countries temporarily and have asked to keep their membership here, because it is difficult for them to leave. We have also recognized that desire in those who are here temporarily in Japan, but don't want to cut membership ties for a variety of reasons. We included a category of membership called watch-care membership, so they could join temporarily without removing their membership in their home church. I know that this has been a quick overview of what it means to be the Body of Christ. But what I wanted you to see with this message is the type of connection required by this understanding of the church as the Body of Christ. There are indications of lists of members being kept in the early church. For example in 1 Timothy 5:9 we are told that there was a list of widows. That is only possible if there were clear lists of who belonged to the church. But the strongest case for meaningful and purposeful church membership that goes beyond just putting your name on a church roll is this picture of the church as a Body. We truly are the Body of Christ. It should not be about your name on our spreadsheet, but what having your name there means. You are committing to be the Body of Christ to the brothers and sisters that make up this local Body, your local church, YIBC. Let's pray.